

古 市伝承作物認定委員、活用委員委嘱状交付式 古くから栽培される農作物の魅力を発掘

9月3日（火） 市役所

市内で古くから栽培されている農作物を「飛騨市伝承作物」として認定し、活用方法を考える市伝承作物認定委員と活用委員の委嘱式が、市役所で開かれました。

この事業は、2017年9月に始めた「飛騨市伝承作物認定制度」の一環で、これまでに神岡町山之村地区の『白たまご』や宮川町で栽培される『みょうが』など8品目が認定されています。

この日は、都竹市長から新任2人を含む12人の委員に委嘱状を交付しました。その後、委員長を選任が行われ、中矢正志さんを委員長、影山節子さんを副委員長に選任しました。



認定委員と活用委員に委嘱された皆さん

民 オペレッタ劇団ともしび公演 俗色豊かな迫力ある演技や歌を披露

9月2日（月） 山之村小中学校

全国で巡業公演している「オペレッタ劇団ともしび」が、山之村小中学校で朝鮮半島民話を基にした「トラの恩返し」を公演し、同校の生徒や園児、地域住民ら約30人が鑑賞しました。

「トラの恩返し」は、山奥に住んでいる木こりに命を救われたトラが、恩返しのために木こりを助けたり、お嫁さんを探すストーリーで、木こり、トラ、山賊、お嫁などに扮した劇団員らは迫力ある演技や歌を披露し、子どもらは話の結末に感動していました。



迫力ある演技を披露する劇団員ら

秋 数河白山神社で数河獅子奉納 の訪れを告げる獅子

9月5日（木） 松尾白山神社・白山神社

古川町数河に伝わる県の重要無形民俗文化財「数河獅子」が、松尾白山神社と白山神社で奉納されました。

数河獅子は、獅子が大自然を相手に狂喜乱舞する姿を表した「曲獅子」、暴れる獅子を天狗が倒す「天狗獅子」、農民の金蔵が獅子を倒して喜びを表す「金蔵獅子」の3つから構成されます。

松尾白山神社では、「曲獅子」と「金蔵獅子」が奉納され、笛や太鼓の音に合わせて2組の獅子が肩車や前転、倒立など勇壮で躍動的な舞を披露し、見物客から大きな拍手が送られました。



曲獅子を披露する数河若社

ヒ 一輪会がヒマラヤユキノシタ手入れ作業 マラヤユキノシタで美しい景観を

9月3日（火） まつり会館・総合会館

昭和22年、23年生まれの同級会「一輪会」が、古川町のまつり会館横の歩道や古川町公民館の花壇などでヒマラヤユキノシタの手入れ作業を行いました。

この奉仕作業は、一昨年古希の記念事業として植栽した多年草のヒマラヤユキノシタ手入れを行おうと会員17人が集まり、花壇の雑草取り、歩道の清掃や苗の補植作業などを行いました。

ヒマラヤユキノシタは、多年草で耐寒性がある植物で、根付くと放任でよく、グラウンドカバープランツとして雑草の抑制が期待され、春にピンクの花が咲きます。



一輪会の皆さん

浴 飛騨古川大きな輪になって踊ろう盆踊り&色和衣 衣で茶会や盆踊りを楽しむ

9月7日(土) 古川まつり広場

大きな輪になろう盆踊り実行委員会主催の「第12回大きな輪になろう盆踊り」&「色和衣」が、古川まつり広場周辺で開かれ、浴衣を着た市民らなどの多くの人でにぎわいました。

この盆踊りは、古川のまちづくりの礎を築いた快存上人の遺徳をしのんで毎年この時期に行われており、今年は飛騨古川を日本一着物の似合う町にするプロジェクトを進める「色和衣 飛騨古川」とのコラボレーションで行われました。

日中には、飛騨の匠文化館中庭で色和衣茶会、夕方からは、まつり広場で催しが行われ、盆踊りでは浴衣の市民らが大きな輪になって踊りを楽しみました。



大きな輪になって踊りを楽しむ市民ら

幻 飛騨新能「藤橋」 想的な舞台と雅楽の詩が観客を魅了

9月7日(土) 神岡町 江馬氏館跡庭園

高原郷の戦国時代の領主・江馬氏にまつわる悲話が題材となった、新能「藤橋」の公演が、神岡町殿の江馬氏館跡庭園の特設舞台で開かれました。

藤橋は、戦国時代に嫡男の裏切りで命を落とした高原郷の領主江馬時盛の妻の亡霊が、旅の僧の供養で成仏するという神岡に古くから伝わる謡曲で、地元住民でつくる藤橋会と古川謡曲連合会の主催で開かれました。

舞台では、第一部に「夕顔」「女郎花」などの仕舞や連吟、第二部では、狂言「しびり」と能「藤橋」が披露されました。月夜とかがり火に照らされた幽玄の世界が、詰めかけた大勢のファンを魅了しました。



特設ステージで披露された能「藤橋」

茂 古川小学校で茂住修身さんによる書道指導 住さんから書の意味を学ぶ

9月20日(金) 古川小学校

新元号の墨書「令和」を揮毫された、飛騨市古川町出身の書家茂住善邨(本名：修身)氏が母校の古川小学校を訪れ、書道の指導や実演をしました。

この授業は、書道指導などを通して、書の言葉の持つ意味を理解してもらおうと行われ、6年生児童約80人が授業を受けました。

授業では、児童らが描いた「友情・親切・人権」の書を見ながら書き方の指導をし、実演では、児童らが書いた文字のほか「令和」や古川小学校の教育目標である「未来を切り拓く」の実演があり、児童らは真剣なまなざしで揮毫する茂住さんの筆先をじっと見つめていました。



児童らの前で書道の実演をする茂住さん

千 ぼんぼりゆめ街道 灯のぼんぼりが夜の町を照らす

9月14日(土)、15日(日) 古川町式之町通り

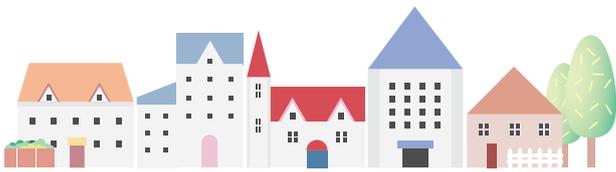
1,000灯あまりの「夢ぼんぼり」でライトアップする「2019 ぼんぼりゆめ街道」が古川町式之町通りで開かれ、約600メートルの通りは幻想的な雰囲気になりました。

この日、式之町通りには、市にホームステイ研修で訪れた台湾新港郷の皆さん、市内保育園児、吉城高校ぼんぼり会や有志の皆さんが製作したぼんぼりが展示され、訪れた市民らの目を楽しませました。

街道沿いでは、吉城高校茶道部によるお月見茶処、ぼんぼりコンサート、夜店なども行われ、多くの人たちが所どころ立ち止まってぼんぼりに照らされた通りを楽しみました。



1,000灯あまりのぼんぼりが並ぶ古川町式之町通り



飛騨市

Facebook 公式アカウント

飛騨市役所

まちの話題に掲載しきれないイベントや写真は市の公式Facebookで配信。



米 古川西小学校の児童が稲刈り体験 作りで農業の大切さを学ぶ

9月25日(水) 古川西小学校 学校田んぼ

古川西小学校5年生児童54人が25日、学校近くの田んぼで、今年5月に苗を植えた田んぼの稲刈りとはさ掛けを行いました。

この日は、古川町中野地区の農事組合法人「みのりの里」の森本義彦さんから稲刈りの仕方や縛り方の説明を受けた後、稲刈りとはさ掛け作業を行いました。児童らは、汗をかきながら楽しそうに黄金色になった稲を手際よく刈り取っていました。

参加した児童は「稲刈りをするのは初めてだったけど楽しかった。食べるのが楽しみ」と話してくれました。



手際よく稲を刈る児童

飛 短歌甲子園で個人戦最優秀賞を受賞 驛神岡高校 玉腰嘉紘さんが喜びを報告

9月20日(金) 市長室

8月に岩手県盛岡市で開催された『短歌甲子園』で個人戦最優秀賞に輝いた、飛騨神岡高校3年の玉腰嘉紘さんら文芸部員4人が都竹市長に結果を報告しました。

短歌甲子園では、部員4人が個人戦に出場したほか4人1チームの団体戦にも出場。玉腰さんは『机』という題で詠んだ一首『日の香りかすかに残る文机を だきしめるように 眠りたい春』が高く評価され、25点満点で24点を獲得し見事最優秀賞に輝きました。

玉腰さんは「仲間のおかげで良い作品ができた。今後も俳句や短歌を詠んでいきたい」と話してくれました。



賞を受賞した玉腰さん(左から3人目)

白 第21回山の村だいこんマラソン大会 然豊かな高原を駆け抜ける

9月23日(土) 神岡町山之村地内

山の村だいこんマラソン大会実行委員会主催の「第21回山の村だいこんマラソン大会」が29日、神岡町山之村地内で行われました。

大会は、山之村牧場を発着点に、ハーフ、5キロ、3キロの3コースが設けられ、1,242人が標高約1,000メートルの里山を駆け抜けました。

参加者は、それぞれ記録に挑戦したり、家族で自然を満喫しながら走るなど、さわやかな汗を流しました。

また参加者には、書家茂住善邨(本名:修身)さん直筆の「激坂」の文字がプリントされたタオルと、同地区特産の寒干し大根が贈られました。



元気よくスタートを切る参加者たち

ふ 古川中学校で赤ちゃんふれあい体験教室 れあいを通して命の大切さを学ぶ

9月26日(木) 古川中学校

古川中学校で命の教育授業が行われ、同校の3年生33人が赤ちゃんたちとのふれあい体験をしました。

この授業は、妊婦体験や赤ちゃん、お母さんとのふれあいを通じて生命の大切さを学ぶことを目的として、毎年市内中学校で行われています。

この日は、妊婦さんにお腹の中の子どもの心音を聞かせてもらったり、重さ9キログラムの妊婦ジャケットを着て妊婦の大変さを体験しました。

また生徒たちは、妊婦さんやお母さんたちの実情を聞き、赤ちゃんを抱っこして戸惑いながらも、とても良い表情で赤ちゃんとのふれあいを楽しんでいました。



赤ちゃんとふれあう生徒ら